

教宣 せぶん

ひとり職場の頑張り

「裁判はどうなりましたか？」。新潟でビラを受け取ったという方から、本日、本部に電話があったそうです。この方は、私たちのたたかひの経過が気になってビラに書かれてある番号に電話をかけていただいたようです。対応した横山書記から現況の説明を受けると、「絶対勝てるよ。頑張って」と激励の言葉をかけてくれたそうです。元気が出るお電話、ありがとうございました。

この激励の電話は、私たちの地道な世論に訴える運動が着実に広がりを見せている、成果をあげていることを物語っています。もしかしたら、中にはたたかひの詳細を知ろうとホームページをご覧になっていただいている方もいるかもしれませんし、「従業員のクビ切りをやめよ」と会社に抗議の電話をかけていただいている方もいるかもしれません。一本の激励の電話は、私たちが知ることができないところで、このたたかひを後押しする力が働いていることを想像させてくれますし、一本の激励の電話から運動の手応えを感じることができます。

いずれにしても、現状で260万枚という到達点を築いている「手渡し&ポスティングビラ」に象徴される私たちのすすめてきた取りくみに、あらためて自信を深め、株主総会に向け、さらに徹底的に東京海上日動社を社会的に包囲していきましょう。

先日の徳島での行動を伝えるNANIWAにも書かれてありましたが、ひとり職場でもそこに組合員がいて、声をあげ続けていることで、その地に「事実」が伝わり、支援の輪が広がり、運動が根付いていきます。その結果として、徳島でも、新潟でも、私たちのたたかひを注目してくれる方々が生まれています。

全国からこうした「世論」の力を集めて、「いま」を全力でたたかひましょう。